

## 警告

- 修理のご用命は、お買い求めの販売店、あるいは弊社営業所までご連絡ください。
  - ①電動シヤーレンチの修理知識および技術力のない方が修理されますと、性能を発揮できないだけでなく、事故・ケガの原因になります。
  - ②シヤーレンチ以外の機器製品は、すべてメーカー修理（有償）となります。
  
- ご使用になる前に、下記の点検を行ってください。
  - ①ソケット、レバーソケット／電動レンチ本体／部品／コード／電源プラグ／コネクター／アース線／アースクリップなどに、変形、亀裂などの異常がないか、点検してください。
  - ②ソケット、レバーソケットが電動レンチ本体に正常にセットされているか確認してください。
  - ③ソケット、レバーソケットを固定させる止めねじが緩んでいないか確認してください。  
（感電・火災・やけど・ケガの原因になります。）
  
- 電源は、銘板表示の電圧で使用してください。  
（火災・やけど・破損・ケガの原因になります。）
  
- ご使用の際には、アース線を接地してください。  
電動レンチは二重絶縁構造ではありませんので接地（アース）をしてください。  
（感電の原因になります。）
  
- 延長コードはアース線を備えた3心コードを使用してください。  
1本をアース線として用い、電動レンチ側のアースに接続してください。  
（アース線のない2心コードですと、感電の原因になります。）
  
- 電源は出来るだけ商用電源をご使用ください。
  
- 延長コードを使用する場合は、その端末での電圧が指定電圧の±10%以内であることを確認してください。  
なお、電圧測定に当ってはレンチ運転中の状態で測定してください。
  
- 発電機を使用する場合は下記の点にご注意ください。
  - ①電源は50Hz-60Hzの高調波を含まない正弦波をご使用ください。高調波を含んでいる電源を使用されますと、レンチの誤動作、あるいは故障の原因となります。
  - ②十分余裕のある容量の発電機を採用してください。  
通常、レンチ1台あたり2kW（2kVA）程度を見込んでください。
  - ③電圧は指定電圧の±10%以内となるように設定してください。
  - ④スローダウン機能は使用しないでください。  
（スローダウン機能←発電機に負荷が掛からない状態で低回転にする機能）  
レンチの誤動作、あるいは故障の原因となります。
  - ⑤溶接機専用発電機（ウェルダ）は使用しないでください。  
制御機能付きレンチ（シヤーランナー及びトルシャット等）の制御器を破壊する可能性があります。
- 発電機の機種・状態によってはノイズを発生するものがあります。  
この場合、制御機能付きレンチが正常に制御出来なくなる場合があります。
- ⑥制御機能付きレンチを使用している周辺で溶接機を使用しないでください。  
別の発電機に接続された溶接機であっても、レンチ使用中に溶接機を使用すると異常なノイズが放射されたり、接地側の影響を受け、制御不能になる場合があります。